

## 陸前高田発

## 「桜ライン311」再開



桜の木を植えて津波の到達点を後世に伝えようと震災の年の秋に始まった『桜ライン311』が、今年も活動を再開しました。これまで

全国からのボランティアや、一関地方の中高生等が参加して植樹活動を行ってきました。今回は地元の小学生にも津波の到達点を、今一度意識してもらおうと、学校の手前100mにまで津波が押し寄せた陸前高田市の米崎小学校の児童に参加を呼びかけたものです。参加した6年生27人は学校から100mほどの民家の土手に、スコップで穴を掘りオオヤマザクラの苗木2本を植えました。3月24日は小友小学校で植樹が行われる予定です。

(3/12 ニュースエコー)

## 陸前高田発

## BRT陸前高田駅「新駅舎」

バスによる運行で仮復旧しているJR大船渡線・BRT陸前高田駅の新駅舎が完成しました。これまでの停留所から50メートルほど



離れた場所に移転新築された新駅舎は広さが55平方メートル、鉄骨平屋建てで「みどりの窓口」が併設されています。また新たなバス停「高田高校前駅」も設けられ、高校生の利便性を高めるため夕方時間帯のバスが増便されました。(3/14 ニュース)

## 宮古発

## 「新道路」通行開始

復興まちづくりに合わせてルート変更が行われていた宮古市田老地区の新しい国道45号線で車の通行が始まりました。津波で大きな被害を受けた田老地区の旧市街地を通る国道45号はおよそ15億円をかけ、山側に40メートル移動し、区画整理の造成に合わせて平均2メートルのかさ上げも行われました。新しい道路は延長1300メートルで、



田老地区のまちづくりの基幹道路が開通したことで復興に向け弾みがつくことが期待されます。(3/15 ニュース)

## 陸前高田発

## 防災シンポジウム



仙台市で開かれている『国連防災世界会議』の関連行事として、陸前高田市で国内外の防災関係者250人が参加してシンポジウムが開かれました。戸羽太市長も参加してパネルディスカッションが行われ、震災のときは高齢者や障がい者に逃げ遅れた人がいることや、避難所で苦労したことなど実例が挙げられ、東日本大震災の経験が世界に伝えられました。(3/16 ニュースエコー)

## 陸前高田発

## 高田高校新校舎完成

東日本大震災の津波で校舎が全壊した県立高田高校の新校舎が完成しました。新校舎は元の校舎に近い山の1万2000平方メートル



を造成して、2012年の9月から建設が進められてきました。新校舎のほか、2つの体育館、食品製造などに使う実習棟を整備しました。また元の校舎の跡地には海拔11メートルの高さまで盛り土をし、1万8700平方メートルのグラウンドを整備しました。(3/17 ニュースエコー)

## 陸前高田発

## さんりく元気ラジオ！

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、3月14日に行われたBRT陸前高田駅の開業とその周辺の様子について伝えてくれました。新駅は市役所の向かいにでき、周りには昨年完成した消防署・防災センター、5月に落成予定のコミュニティホールがあります。また同時に県立高田高校の新校舎が完成したことから高田高校前駅も新設されました。高田高校はグラウンドなどの整備もまだ不十分で、部活動の時は別のグラウンドに移動しなければならず不便な状態はもう少し続きますが、5月には落成式が予定されています。(3/18)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122